



Broadmedia

# 2017年度第1四半期 決算概況

ブロードメディア株式会社

2017年7月28日

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

# 2017年度第1四半期決算概要

## トピックス

### 【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の業績
- ・ 教育事業
- ・ 映画配給事業

# 第1四半期累計期間(4月～6月)の連結経営成績



(単位：百万円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	増減率
売上高	3,249	3,414	↑ 165	5%
営業利益	47	63	↑ 15	32%
経常利益	31	63	↑ 31	100%
純利益	△ 56	73	↑ 129	-

(百万円未満切捨て)

## 概況

- 前年同期と比べて、売上高は増加し、営業利益は増益
- 持分法による投資損失の減少等の影響もあり、経常利益も増益
- 純利益は、特別利益の計上や非支配株主利益の減少等により黒字化

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
コンテンツ	491	543	↑ 52	△ 62	△ 9	↑ 53
放送	1,405	1,501	↑ 96	89	82	→ △ 7
スタジオ	690	614	↓ △ 76	54	0	↓ △ 54
技術	455	535	↑ 79	75	86	↑ 11
ネットワーク営業	206	219	→ 13	6	0	→ △ 6
全社費用				△ 115	△ 96	↑ 19
合計	3,249	3,414	↑ 165	47	63	↑ 15

(百万円未満切捨て)

- 売上高は、「スタジオ」以外の全てのセグメントが増収
- 営業利益は、「コンテンツ」の損失が改善したことや、堅調な「技術」、「全社費用」の削減等により、「スタジオ」の減益を吸収し、増益

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
コンテンツ	491	543	↑ 52	△ 62	△ 9	↑ 53
放送	1,405	1,501	↑ 96	89	82	→ △ 7
その他						↑ △ 54
合計	3,249	3,414	↑ 165	47	63	↑ 16

(百万円未満切捨て)

✓ クラウドゲーム事業とVOD(デジタルメディア)は、  
いずれも売上が伸び営業損失は縮小

✓ 教育サービスは増収増益

- 売上高は、「スタジオ」以外の全てのセグメントが増収
- 営業利益は、「コンテンツ」の損失が改善したことや、堅調な「技術」、「全社費用」の削減等により、「スタジオ」の減益を吸収し、増益

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
コンテンツ	491	543	↑ 52	△ 62	△ 9	↑ 53
放送	1,405	1,501	↑ 96	89	82	→ △ 7
スタジオ	690	614	↓ △ 76	54	0	↓ △ 54
						↑ 11
						△ 6
						↑ 19
合計	3,249	3,414	↑ 165	47	63	↑ 15

(百万円未満切捨て)

- ✓ 原価率の高い制作収入(放送外収入)の増加
- ✓ 一部の視聴料収入が減少
- ✓ その結果、売上は増加したが営業利益は若干減少

- 売上高は、「スタジオ」以外の全てのセグメントが増収
- 営業利益は、「コンテンツ」の損失が改善したことや、堅調な「技術」、「全社費用」の削減等により、「スタジオ」の減益を吸収し、増益

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
コンテンツ	491	543	↑ 52	△ 62	△ 9	↑ 53
放送	1,405	1,501	↑ 96	89	82	→ △ 7
スタジオ	690	614	↓ △ 76	54	0	↓ △ 54
技術	455	535	↑ 79	75	86	↑ 11
						△ 6
						19
						15

- ✓ 番組販売事業は、テレビ局向け番組販売が増加
- ✓ 制作事業は、黒字を計上したが、受注は弱含みで推移
- ✓ 拠点の整理に伴う一時費用が発生

■ 売上高は、「スタジオ」以外の全てのセグメントが増収

■ 営業利益は、「コンテンツ」の損失が改善したことや、堅調な「技術」、「全社費用」の削減等により、「スタジオ」の減益を吸収し、増益

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
コンテンツ	491	543	↑ 52	△ 62	△ 9	↑ 53
放送	1,405	1,501	↑ 96	89	82	→ △ 7
スタジオ	690	614	↓ △ 76	54	0	↓ △ 54
技術	455	535	↑ 79	75	86	↑ 11
ネットワーク	206	219	→ 13	6	0	→ △ 6
合計	3,249	3,414	↑ 165	47	63	↑ 16

(百万円未満切捨て)

✓ CDNサービスが好調に推移し、増収増益

- 売上高は、「スタジオ」以外の全てのセグメントが増収
- 営業利益は、「コンテンツ」の損失が改善したことや、堅調な「技術」、「全社費用」の削減等により、「スタジオ」の減益を吸収し、増益



# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
コンテンツ	491	543	↑ 52	△ 62	△ 9	↑ 53
放送	1,405	1,501	↑ 96	89	82	→ △ 7
スタジオ	690	614	↓ △ 76	54	0	↓ △ 54
技術	455	535	↑ 79	75	86	↑ 11
ネットワーク営業	206	219	→ 13	6	0	→ △ 6
全社費用				△ 115	△ 96	↑ 19

✓ **ブロードバンド回線「SoftBank 光」の販売は、同水準で推移**

- 売上高は、「スタジオ」以外の全てのセグメントが増収
- 営業利益は、「コンテンツ」の損失が改善したことや、堅調な「技術」、「全社費用」の削減等により、「スタジオ」の減益を吸収し、増益

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
コンテンツ	491	543	↑ 52	△ 62	△ 9	↑ 53
放送	1,405	1,501	↑ 96	89	82	→ △ 7
スタジオ	690	614	↓ △ 76	54	0	↓ △ 54
技術	455	535	↑ 79	75	86	↑ 11
ネットワーク営業	206	219	→ 13	6	0	→ △ 6
<b>全社費用</b>				△ 115	△ 96	↑ 19

✓ 継続的な効率化の推進に加え、Gクラスタ・グローバル社関連費用がなくなったことが影響

■ 営業利益は、「コンテンツ」の損失が改善したことや、堅調な「技術」、「全社費用」の削減等により、「スタジオ」の減益を吸収し、増益

(単位:百万円)

	2017年度 第1四半期	通期 業績予想 (4月28日発表)	進捗率
売上高	3,414	14,000	24%
営業利益	63	250	25%
経常利益	63	200	32%
純利益	73	50	146%

(百万円未満切捨て)

- 売上高は概ね予想通りに進捗し、損益は想定を上回り進捗
- 通期の業績予想については、現時点では据え置く

## 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2016年度	2017年度 第1四半期	増減額	増減率
総資産	7,800	8,015	215	3%
負債	4,857	4,976	118	2%
純資産	2,942	3,039	96	3%
自己資本	1,957	2,027	70	4%
非支配株主持分	984	1,011	26	3%
自己資本比率	25%	25%	—	—

(百万円未満切捨て)

### 総資産

- 番組勘定や前払費用が増加

### 負債

- 役員退職慰労引当金が減少した一方で、買掛金や借入金が増加

### 純資産

- 四半期純利益の計上により、純資産は増加

## キャッシュフローの状況

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期
営業キャッシュフロー	△ 93	△ 411
投資キャッシュフロー	△ 65	△ 58
財務キャッシュフロー	966	72
現金及び現金同等物の増減	805	△ 394
現金及び現金同等物の期末残高	2,247	1,909

(単位：百万円) (百万円未満切捨て) ※上記表中には「現金及び現金同等物に係る換算差額」は記載しておりません

### 営業キャッシュフロー

- 純利益を計上したが、たな卸資産や前払費用の増加等によりマイナス411百万円

### 投資キャッシュフロー

- 固定資産の取得等により、マイナス58百万円

### 財務キャッシュフロー

- リース債務返済があった一方で、借入等によりプラス72百万円

## ■ 第1回無担保転換社債型新株予約権付社債

### 【発行した新株予約権付社債】

新株予約権の発行総数	発行による潜在株式数 (新株予約権1個につき238,095株)	社債の発行総額 (新株予約権1個につき25百万円)
40個	9,523,800株	1,000百万円

### 【転換の進捗】

新株予約権の権利行使総数	交付株式数	転換済み社債の総額
5個	1,190,475株	125百万円

### 【新株予約権付社債の残高】

未行使の総数	潜在株式の残数	転換社債の残高
35個	8,333,325株	875百万円

# 2017年度第1四半期決算概要

## トピックス

### 【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の業績
- ・ 教育事業
- ・ 映画配給事業

## ゲーム開発

### 外部との提携による開発を推進

⇒ ゲーム開発会社の株式会社ポケットよりCBを引き受けた  
<http://www.pckt.co.jp/>

- ① Nintendo Switch向けゲームソフトの開発
- ② スマホ向けゲームアプリの開発
- ③ 第一弾として、VR向けコンテンツを配信開始

クラウドゲームに限らず、魅力あるコンテンツ開発を推進



クラウドゲームサービスとの連携も進める



“思わず星に触りたくなる”新感覚プラネタリウム  
360度、足元まで広がる満天の星をVRで体感

VR専用アプリ

HOMESTAR VR

# ホームスター VR

VR  
ヘッドマウントディスプレイ



×



100万台以上を販売した  
セガトイズ社のヒット商品  
家庭専用プラネタリウム「ホームスター」

セガトイズ社全面協力および  
日本屈指のプラネタリウム・クリエイター大平貴之氏が監修

2017年7月27日、Gear VR向けアプリの配信開始  
順次、様々なVRプラットフォームStoreで販売予定

# レオパレス21入居者様向けインターネットサービスで、 「Gクラスタ for LEONET」を、6月1日に提供開始

 **G-cluster** for LEONET



専用端末「Life Stick」にプリインストールされたことで、全国  
約55万件のレオパレス21の賃貸物件備え付けのテレビにて、  
手軽に「Gクラスタ」をお楽しみいただけるようになりました

## マルチデバイス向け映像配信サービス 「クランクイン！ビデオ」の株主優待ポイントを受け取る 株主様専用サイトを開設しました



Broadmedia **クランクイン！ビデオ**

株主優待の申請受付期限：2017年12月28日12時まで

ブロードメディア株式会社 株主優待専用サイト

ブロードメディア株主優待専用サイトへアクセスしていただき、誠にありがとうございます。  
株主優待ポイントを取得するには、「株主番号」と「クーポンコード」が必要となりますので、あらかじめご用意していただき、  
下記クランクイン！ビデオの「会員の方」または「非会員の方」を選択して手続きを行ってください。

● 株主優待ポイントの取得はこちらから

**クランクイン！ビデオ 会員の方**      **クランクイン！ビデオ 非会員の方**

> 「株主優待ご利用規約」に同意してすすむ

- ▶ クランクイン！ビデオご利用ガイド
- ▶ クランクイン！ビデオご利用規約
- ▶ 株主様専用お問い合わせ

『クランクイン！ビデオ』は人気の新作映画や話題のドラマを  
お楽しみいただけるオンラインのレンタルビデオサービスです。

<https://video.crank-in.net/shareholder>

当社ホームページの  
「IR情報」>「株主優待」ページからも  
アクセスできます

「会員の方」もしくは「非会員の方」を  
選択して、株主優待ポイントの取得  
手続きを行ってください

株主優待ポイントの取得期限：2017年12月28日(木)昼12時まで

**クランクイン！ビデオ** をお楽しみください

# ご清聴ありがとうございました



Broadmedia

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します

# 2017年度第1四半期決算概要

## トピックス

### 【参考資料】

- 事業セグメント別の業績
- 教育事業
- 映画配給事業

# 事業セグメント別の連結業績 ～コンテンツ～



	売 上 高			営 業 利 益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	491	543	↑ 52	△ 62	△ 9	↑ 53

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- クラウドゲーム事業とVOD(デジタルメディア)は、いずれも売上が伸び  
営業損失は縮小
- 教育サービスは増収増益

## ◆クラウドゲームサービス

- ・クラウドゲーム  
「Gクラスタ」
- ・スマホ向けクラウドゲームアプリ
- ・通信事業者向けプラットフォーム

## ◆デジタルメディアサービス

- ・「クランクイン！」
- ・「クランクイン！ビデオ」

## ◆教育サービス

- ・ルネサンス高等学校
- ・ルネサンス豊田高等学校
- ・ルネサンス大阪高等学校

# 事業セグメント別の連結業績 ～放送～



		売 上 高		
		2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
放	送	1,405	1,501	↑ 96

		営 業 利 益		
		2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
		89	82	→ △ 7

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 原価率の高い制作収入(放送外収入)の増加
- 一部の視聴料収入が減少
- その結果、売上は増加したが営業利益は若干減少

## ◆釣りに専門チャンネル「釣りビジョン」

- ・衛星基幹放送事業(BS放送)
- ・ケーブルテレビ局等への「釣りビジョン」の提供
- ・その他

# 事業セグメント別の連結業績 ～スタジオ～



	売 上 高			営 業 利 益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
ス タ ジ オ	690	614	△ 76	54	0	△ 54

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 番組販売事業は、テレビ局向けへの番組販売が増加
- 制作事業は、黒字を計上したが、受注は弱含みで推移
- 拠点整理に伴う一時費用が発生

## ◆制作事業

- ・日本語字幕制作
- ・日本語吹替制作
- ・文字放送字幕制作
- ・番組宣伝制作

## ◆映画配給事業

- ・劇場映画の製作・配給
- ・DVD / Blu-rayの発売
- ・TV放映権の販売
- ・VOD権の販売

## ◆番組販売事業

- ・ハリウッド映画等のテレビ局への供給



# 事業セグメント別の連結業績 ～技術～



		売 上 高		
		2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
技	術	455	535	↑ 79

		営 業 利 益		
		2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
		75	86	↑ 11

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

## ■ CDNサービスが好調に推移し、増収増益

### ◆CDNサービス

- ・CDNソリューションズ
- ・ブロードメディア®CDN Entry
- ・ブロードメディア®CDN mobile
- ・ブロードメディア®CDN mobile movie

### ◆デジタルシネマサービス

- ・ブロードメディア®CDN for theater
- ・配信機器等の販売及びレンタル
- ・VPFサービスの提供

### ◆その他サービス

- ・ホテルの客室、会議室等へのインターネットサービスの提供

# 事業セグメント別の連結業績 ～ネットワーク営業～



	売 上 高			営 業 利 益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
ネットワーク営業	206	219	➡ 13	6	0	➡ △ 6

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- ブロードバンド回線「SoftBank 光」の販売は、同水準で推移

◆ブロードバンド回線販売

◆ISPサービス販売

◆その他

	営業利益		
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減額
全社費用	△ 115	△ 96	▲ 19

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 継続的な効率化の推進に加え、Gクラスター・グローバル社関連費用がなくなったことが影響

## ◆グループ本社(ブロードメディア)の管理部門に係る費用・損益

## 連結子会社であるルネサンス・アカデミー社が (株)日本語センターを完全子会社化しました



- ✓ 独自のオンライン教材
- ✓ マルチデバイスで学習ができるなど最先端のネット教育を提供している通信制高等学校を運営

株式会社 日本語センター  
Japanese Language Center

- ✓ 短期間で“使える日本語”を習得
- ✓ 大手企業の外国人向け日本語研修
- ✓ 日本語教師育成に関する研修・講座の運営

両社の強みを活かした相乗効果

海外マーケットへ進出

オンライン化により顧客層を拡大



## スウェーデン・アカデミー賞 最多3部門受賞の感動作 『いつも心はジャイアント』

8月19日(土)  
新宿シネマカリテほか  
全国順次公開

難病を患いながらも懸命に生きる青年リカルドの姿を、スウェーデンの風景を交えた独特な映像美で描いた珠玉の人間ドラマ。

**創造力が生み出す優れた作品やサービスを**

**広く社会に普及させ**

**より豊かなコミュニティの形成・発展に貢献する**

<http://www.broadmedia.co.jp/>



Broadmedia

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します